2022 年度

三井のリハウス東京都 U-12 サッカーリーグ　第４ブロック　要項

令和４年３月 19 日版

令和４年３月 22 日一部改訂

1. リーグ戦期間

前期 令和４年４月２日（土）～ ６月２６日（日）

※６月末に後期リーグに向けた代表者会議の予定（日程未定）

後期 令和４年９月３日（土）～１２月２４日（土）

※７・８月は熱中症対策として都連盟主管の試合は休止の予定です

全日本少年サッカー大会　東京都第４ブロック予選(前期リーグの結果を反映)

決勝トーナメント（予定）　９月１８日（日）　９月２３日（祝・金）

１０月　２日（日）１０月　９日（日）

１０月１６日（日))

予備日：１０月２３日（日）

2. 参加資格

①２０２２年度_日本サッカー協会第４種に加盟登録したチーム（４ブロック所属）及び加盟チームに所属し、登録選手証を有するもの。

②年間を通じて継続的に活動していること。

③**登録選手は６年生を主体**とし、５年生、４年生を登録する場合には体格差や体力差など安全への配慮、検討を十分に行った上で登録し、チームの責任で出場させる。

３年生以下の登録・参加は安全上の観点から不可とする。

※過年齢の小学校６年生児童の参加は認めない。

④**出場する選手**については、年度当初に指定の「登録用紙兼エントリー表」において、エントリー申請し、ブロックからの承認を得る。**(内容に変更があった際にはその都度再承認を受ける)**

※ブロックの承認印のある用紙をコピーして試合ごとに会場本部に提出すること。

※登録用紙兼メンバー表は**「氏名」「学年」「登録番号」について必ず印字**すること。

背番号については、印字が望ましいが、チーム事情により手書きも可。

※但し、１試合目と２試合目で番号を書き換えることは原則不可とする。

指導者欄も原則印字する。チーム事情により当日**臨時で参加するコーチは手書き可**

なお、急な代役の指導者やメディカルスタッフを記入できるよう**空欄も残しておく**。

⑤**移籍について**　(2022 連盟大会要項「東京都中央大会・ブロック大会共通事項」参照)

移籍は、U-12 リーグ開催中、随時可能。

ただし、都及びブロックの承認が下りるまでは新チームでの出場はできない。

(要注意) **６月２６日(日)までに移籍手続きが完了し都の承認が下りていなければ**

全日本少年大会のブロック予選には出場できない。

※複数エントリーチームは前期終了後、後期リーグには同一団体の選手の入れ替えができる。

※移籍があった場合には、速やかに委員長に報告した上で、移籍手続き完了後には

新しい登録用紙を作成・提出し、ブロックの承認を得ること。

⑥**参加チーム**は、スポーツ傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に必ず加盟すること。

⑦**引率指導者**は当該チームを掌握指導する責任ある成人の指導者であること。

また、ベンチ入りは全員がＤ級以上の有資格者であること。

(要注意)　**２０２２年度に関しては、特例として資格がなくてもベンチ入りできる。**

その場合でも、必ず１名は有資格者であること。

※これは、新型コロナウイルスの感染防止のためにＤ級指導者資格の取得講習が行われなかったための

特例措置です。２０２２年度に講習が開催された場合には、必ず受講し資格を得てください。

３．ブロックリーグの進め方

①グループ分け　**１グループは９チーム以上で編成する**

2022 年度は、前期 前年度のリーグ戦の成績を考慮した５グループ

後期 前期リーグの成績による５グループ

②試合数の制限

選手のファーストの考えから**週あたりの試合数**には制限があります。

１日もしくは**連続する２日間**（土、日）で１チーム最大２試合とする。

（土曜日１試合、日曜日１試合　　または、土曜日か日曜日に２試合）

（３連休の扱いは、土曜日２試合、日曜日なし、月曜日１試合。

土曜日１試合、日曜日なし、月曜日２試合　の３試合）

※やむを得ず土、日曜日で３試合をするときは試合時間を 15 分ハーフで行うなど、

選手の健康を考慮して行う。

③開催条件

３チーム、もしくは４チームを最低条件とする。(グループが異なっても可)

２チーム同士のみでの開催は、別チームから審判員を手配できる最終手段としてのみ 開催可能。

同一グループ内で数会場に分かれての分散開催も認める。

４.競技規則

詳細については東京都少年サッカー連盟HPの大会イベント情報　リハウスリーグの大会要項等を参照のこと。

①試合は、2022連盟大会要項「競技規則」、「三井のリハウス　東京都U-12ブロックリーグ細則」に準じる。

②キックオフから直接相手ゴールに入った場合は、得点を認めず、相手チームのゴールキックで再開する。

③競技時間は２０分ハーフ(５分のインターバル)とする。

④コートの広さは、規定の６８ｍ×５０ｍを基準とするが、使用会場に合わせて柔軟に対応する。
ゴールについては、大人用ゴールの使用も可とする。
また、ハンドボールゴールを２つつなげたものも可とする。

⑤ボールは４号球を使用する。

⑥選手は、ブロック承認印のある「登録用紙兼エントリー表」に記載があること。

※前後期のリーグ戦開始前に、「幹事チーム」が「登録用紙兼エントリー表」を集める。
各チームは、承認印のある登録用紙兼エントリー表のコピーを幹事チームに提出する。

⑦８人制の競技とする。

キックオフの時点では、両チームともフィールド上に８人いなければ試合は開始されない。
試合の進行中に一方または両方のチームが８人いない場合も試合は続行される。
また、**試合終了時フィールド上に６人未満の場合、試合は不成立**となる。(ハンドブック参照)

⑧**交代は交代ゾーンを使用しての「自由な交代」**を採用する。(新ルール適用外の措置)
ただし、ゴールキーパーの交代に関しては、ボールがアウトオブプレーの時に主審に通知して行う。
退場を命じられた場合は、交代要員の中からすぐに補充できる。
※主審は競技者の補充が行われている間は、試合を停止する。

⑨退場を命じられた競技者は、次の１試合に出場できない。
警告累積３回は、次の試合に出場できない。(累積はU－１２リーグ後期終了時に消滅する)
※前期リーグの累積警告は、後期リーグに持ち越される。

⑩ベンチに入れる引率指導者は２～４名まで。**(１名だけは不可)**
全員がD級以上の有資格者であること。(試合には指導者証を必ず持参のこと)
★2022年度は、有資格者が１名いれば、他の指導者は無資格でも可
※テクニカルエリアは設置しない。
※戦術的指示はベンチで、その都度ただ一人の引率指導者が伝えることができる。
※負傷した競技者の程度を確かめるためにフィールド内に入ることを許される引率指導者は原則１名までとする。
※ベンチでのスマートフォンでの通話などは厳禁

⑪メディカルスタッフ、トレーナーについて

ベンチ入り引率指導者のうち１名をメディカルスタッフもしくはトレーナー（資格不要）とすることができる。（員数外ではなく４名の中に含みます）

※ベンチ入りの際は**ビブスを着用**し他の引率指導者と区別できるようにする。

※メディカルスタッフ及びトレーナーの指示は禁止。

※ベンチ入り例　〇D 級以上の**有資格者２名**＋メディカル or トレーナー０名の計２名

〇D 級以上の**有資格者２名**＋メディカル or トレーナー１名の計３名

〇D 級以上の**有資格者３名**＋メディカル or トレーナー１名の計４名

★2022 年度は有資格者１名でも可

⑫**審判について**は、一人制審判法（主審及び補助審判員）を採用する。

審判員は、主審・補助審とも**有資格者**とし、必ずレフリーウェアを着用すること。

※「審判報告書」に「登録番号」を記載するので「審判員証」を携帯すること。

⑬**ユニフォームについて**　2022 連盟大会要項「東京都中央大会・ブロック大会共通事項」参照

フィールドプレーヤーとなるゴールキーパーのショーツ及びストッキングは、フィールドプレーヤーと同じ色彩で良い。但し、ジャージ・シャツは他の競技者と類似しない色とする。

不明な点はブロック委員長に確認すること。

※胸番号・背番号が必ずあること。同一番号・同一人物であること。

※ホームとアウェイのユニフォームで、選手の番号が違うなどということがないように。

どちらもその日に提出するエントリー表の背番号と同じであること。

※サブユニフォーム、キーパーユニフォームの「ビブス」対応は不可である。

⑭ユニフォームの確認は、事前もしくは当日の試合開始４０分前までに済ませる。

また、選手は試合開始１０分前に指定集合場所でチェックを受ける。

⑮「登録用紙兼エントリー表」は、原則、試合開始３０分前までに会場本部へ２部提出する。

その日の最初の試合の時は、顔写真添付選手証一覧表も一緒に提出してチェックを受けること。

５. グループリーグ運営方法

「リーグ戦は公式戦である」という趣旨のもと、試合を進める。

「学校行事」以外の事情は、原則認めない。

※「学校行事に関わり、チームとして出場できない」ことを許可できるのは、エントリー登録選手のうち、該当学校行事に関わらない選手が８人未満の時である。

「許可」可能か審議するために、該当チームは「幹事チーム」へ各エントリー選手の「小学校名」を明示すること。

※「棄権試合」が生じた場合、不戦勝チームには、「勝ち点３、得点３」を与える。

不戦敗チームは、　「**勝ち点マイナス１**、得点０」とする。

①各グループ内で幹事チームを選出し、全チームで協力をして設定期間の中で日程を確保し
運営する。

②会場提供できるチームと困難なチームとで、当番や運営担当を仕事分担する。

③会場費（石灰代他）は、グループリーグごとに集金し、その中で会計事務を行う。
過不足が生じたときは、同一グループ内で精算する。（１試合を４００円程度とする）
各チームは、前期２０００円、後期２０００円をリーグ戦運営費とし、各リーグ会計担当者がこの集金にあたる。会計担当者は、幹事チーム以外から選ぶ。
料金のかかる会場を使用した場合は、その支出について、グループ内で処理する。
※会計担当者は、リーグ終了後「会計報告」を各チームに明示する

④リーグ戦期間　　前期 令和４年４月２日（土）～　６月２６日（日）
後期 令和４年９月３日（土）～１２月２４日（土）
※７月、８月は熱中症対策で休止期間となる予定

★試合日程の目安（各チームの試合数）

前期リーグ	３試合終了	５月　１日まで
	６試合終了	５月３０日まで
	全試合終了	６月２６日まで
後期リーグ	３試合終了	１０月１０日まで
	６試合終了	１１月１３日まで
	全試合終了	１２月２４日まで

※この日程を目安に各リーグ全チームで運営に協力してください。

⑤試合終了後は、各会場運営責任者から「幹事チーム」へ試合結果をすみやかに
「東京都Ｕ－１２ブロックリーグ記録用紙」及び「審判報告書」によって報告する。
※各会場から「幹事チーム」へどのように報告するかを事前にリーグ内で決めておいてください。

⑥試合があった週明けに幹事チームは、第４ブロックリーグ戦担当　森　宛て、
すみやかにメールに各グループの結果を入力した星取表を添付して報告する。
（報告先は、4block.u12@gmail.com　）
各試合の記録用紙、審判報告書の原本は、リーグ戦が終わるまで各幹事チームが保存し、年２回の代表者会議の際に提出をする。

⑦警告・退場の報告について
「退場」「警告」について幹事チームは掌握し、次試合の該当チーム及び次節の会場担当に
連絡する。なお、警告は前期から後期にも引き継がれる。

⑧順位の決定（全試合が行えた場合）

「勝ち」→「勝ち点３」　「引き分け」→「勝ち点１」　「負け」→「勝ち点０」

※勝ち点の合計が同じ場合　以下の項目の順で順位を決める

①得失点差　②総得点　③当該チーム同士の対戦結果　④抽選

※新型コロナウイルスの感染拡大などにより、未消化試合が生じた場合には、以下の方法により順位を決定する。前期は６月２６日時点、後期は１２月２４日時点

１）勝ち点率（勝ち点÷試合数）

２）勝ち点率が同じ場合　得点率（総得点÷総失点）

３）得点率が同じ場合　　直接対決の結果（ない場合には④へ）

４）抽選

※あまりに試合数が少ない、もしくはチーム差がある場合には、要相談。

⑨試合会場は、ブロック所属チームが責任をもって管理・運営できる会場であれば、４ブロックの地域内でなくとも可とする。

⑩猛暑、雨天、落雷等により、再試合を設定する場合も前後期の期間内で調整。

（調整が難しい場合は要相談）

⑪リーグの入れ替えについて

〇前期の結果で、後期のグループ編成を行う。

昇格　Ａリーグを除き、各リーグ上位２チームが昇格。

降格　Ｅリーグを除き、各リーグ下位２チームが降格。

〇**同様の方法で、後期の結果で次期のグループ分けを行う。**

※但し、年度替わりにおいては、参加チーム数の変動により必ずしも２チームの昇格・降格ができない場合もある。その場合には、総合順位と各グループのチーム数により次期のグループ編成をする。

⑫新型コロナウイルス感染防止対策について

〇引き続きこれまで同様の感染症対策は必ずチーム内で徹底をしてください。

〇試合だけの限定ではなく、日常の練習でも

〇特に、マスクの着脱については、指導者がしっかり理解して、チーム内で徹底してください。

全日本少年サッカー大会　東京都第４ブロック予選(前期リーグの結果を反映)

決勝トーナメント（予定）　　９月１８日（日）　９月２３日（祝・金）
１０月　２日（日）１０月　９日（日）
１０月１６日（日))
予備日：１０月２３日（日）

① 全日本少年大会の東京都ブロック予選参加チーム(**前期リーグの結果を反映**)

・Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄリーグは全チーム、Ｅリーグ上位４チーム

合計４０チーム

※前期リーグの結果を決勝トーナメントの組み合わせに反映させる。

②大会規定は、「ブロックリーグ戦」に準じる。

③ベスト４を決める試合までは、参加チームによる自主運営。
ベスト４以降、順位決定戦については、４ブロック役員による運営。

【そ の 他】

・試合毎のインターバルに余裕をもたせ、クーリングブレイクや飲水タイムなどを積極的に行うなど熱中症対策を十分に行い、選手の安全第一での運営をすること。

・落雷時の試合の中断の判断を躊躇わず、避難場所などについても予め想定をしておくこと。

・雨天や落雷により、中断・中止の場合は、各チームで別日程を設け、その日程については、リーグ幹事チームへ報告する。試合が中断し中止となった場合は、再試合とする。

※試合前半で中断後中止となった場合は、試合開始時から再試合、
試合後半で中止になった場合は、中止になった時点から再試合とする。

・大会中の負傷事故等については、チームが加入しているスポーツ傷害保険などで処理をすること。特に見学や応援等に来る家族や関係者などの負傷事故等についても自己責任を確認させ、必ず了承を得ること。

・また会場付近への車での来場や近隣への迷惑行為（喫煙やゴミ）などが著しくひどい場合は、関係チームの試合を没収試合とする。全来場者のマナー遵守の徹底に努めること。

補足資料　会場運営などについて

【エントリー表の取扱い】

①試合開始３０分前までに、前半の先発メンバーに印をつけたものを会場本部に各チーム２部提出。
　同時にベンチ入り指導者の指導者証、**健康チェックシートも**提出し確認をする。
　　※健康チェックシートは、指示があるまでは来シーズンも継続です。

②会場本部にて、選手登録証とチェック。チェック後に、1 部は補助審、もう 1 部は相手チームへ渡す。

③試合終了後、補助審・各チームから本部へ返却を忘れずに行ってもらう。必要なら回収。
　この時に、審判、各チーム指導者から結果報告書にサインをもらう。

④1 枚は、結果報告書・審判報告書とともに幹事チームに送付し、もう 1 枚は会場本部が保管。

⑤警告や退場があった場合には、次節に引き継がれるので、必ず幹事に連絡をする。
　※退場の場合、次節出場停止、警告累積３回で次節出場停止となります。

⑥次の試合の選手の集合及び用具チェックは試合開始１０分前、場所は原則本部の脇とします。

【ＷＢＧＴの計測について】

①**試合ごとに、キックオフ時、ハーフタイム時に必ず会場本部が計測をする。**

②計測の場所は、予備審の座っている場所。そこが日陰の場合には、その近辺の日向で計測。
　子供たちが実際にプレーする環境に近くないと計測の意味はありません。
　地面からの高さ１m位での計測をお願いします。

③計測値を審判に伝え、必要に応じて熱中症対策ガイドラインに沿った対応をしてもらう。
　本部担当は、計測値を結果報告書の所定の欄に記入。

④飲水タイム、クーリングブレイクなどの対応を取った場合には、結果報告書の一番下の報告事項の欄にその旨を会場本部が記入する。

【熱中症対策ガイドライン】

対応Ａ　ベンチにテントで日陰をつくる（選手とスタッフ全員が入れるもの）
　　氷の準備、ベンチ内でスポーツドリンクが飲めるなど

対応Ｂ　屋外の人工芝ピッチは使用不可、会場に医師またはそれに準じる人の配置、
　　クーラーのあるロッカールーム、医務室がある。

①ＷＢＧＴ＝３１℃以上　原則中止
　実施の場合はガイドラインの**対応Ａ及びＢ**に加えて４種ではクーリングブレイクを行う

②ＷＢＧＴ＝２８℃以上
　実施の場合はガイドラインの**対応Ａ**に加えて４種ではクーリングブレイクを行う

③ＷＢＧＴ＝２５℃以上
　実施の場合はガイドラインの**対応Ａ**に加えて４種ではクーリングブレイクか飲水タイムを行う

【クーリングブレイク】

①前半、後半の半分程度の時間が経過したところで**３分間設ける**。

②日陰のあるベンチに入り、休ませる。

③氷、アイスパックなどで体を冷やす。

④**水だけでなく、スポーツドリンクを飲ませる**。

⑤クーリングブレイクに要した時間は、それぞれ**前半後半の時間に追加**をされる。
ベンチにテントがありガイドラインＡの条件が整っている場合、**チームが勝手に日陰に移動するなどして時間を多く使うのは不可。**

⑥前半と後半でＷＢＧＴの数値の変動により対応が変わることもあり得る。
だから、キックオフ前、ハーフタイムに必ず計測をする。

⑦戦術的な指示を行うことも時間の範囲内ならば可能。

【飲水タイム】　いわゆる給水タイム

①前半、後半の半分程度の時間が経過したところで設ける。

②時間の目安は、**３０秒から１分**

③選手は**ピッチの外へ出ない**。

④あくまでも飲水のための時間であり、**戦術的な指示は不可**。

⑤飲水タイムに要した時間は、**原則として前後半の時間に追加する**が、ランニングタイムで行う場合には主審がその旨を予め会場担当やベンチにも伝えておく。

【その他】

①光化学スモッグへの配慮もお願いします。

②クーリングブレイクなどを設ける可能性があることから、試合に要する時間は６０分と考えて余裕のあるスケジュールを組んでください。
通常ですと、２０分－５分－２０分の４５分で考えますが、
クーリングブレイクを入れると　２３分-５分-２３分の５１分となります。
実際にはもう少しかかると思いますのでね６０分で見積もると余裕だと思います。

③井草の森、和田堀などは、人工芝グランドや小学校の校庭と異なりラインを引くための印は一切ありません。計測をしながらゼロからコートづくりをする必要があり、準備に時間を要します。ギリギリの試合スケジュールですと、最終試合が終わらないケースも起こり得ますのでご留意ください。
また、グランドの使用時間枠内で試合が終わらず、次に使用する団体とトラブルになったケースもあります。余裕のある試合スケジュールでお願いします。